

Where There's a **Will**, There's

「早期診断」と「低侵襲治療」の
2つの価値をベースに、
世界最高の技術・製品・サービスを提供し続けます



消化器内視鏡の進化

1950年

撮る

「早期がん発見への第一歩」
世界初の実用的胃カメラを開発



1964年

診る

「診断と治療への貢献」
ファイバースコープ誕生



1966年

治す

「生検からスタート」
当社初の「生検用スコープ」
および「処置具（生検鉗子・
細胞診ブラシ）」を発売

1982年

世界初の
超音波内視鏡
システム誕生

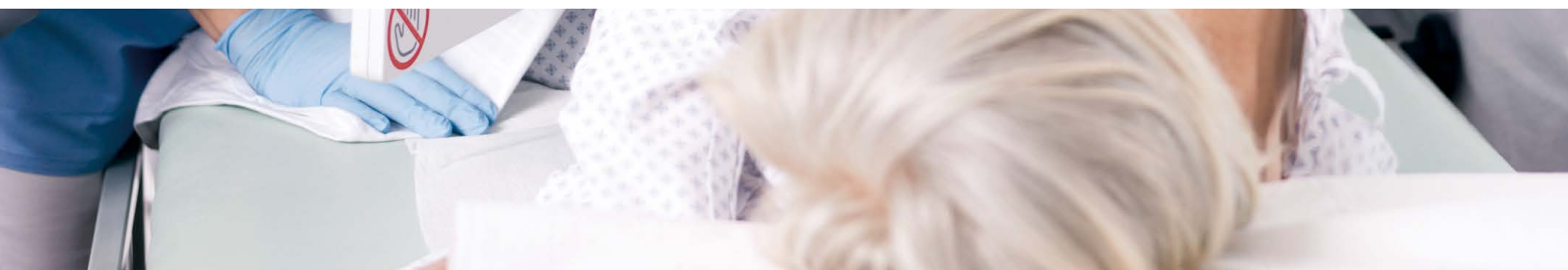
1985年

ビデオ
スコープ
誕生

2002年

世界初の
「ハイビジョン
内視鏡システム」
開発

極めて小さな病変も
捉える、クリアで
高精細な表示



a Way.

オリンパスが提供する 2つの価値

早期診断

低侵襲治療

世界中の人々の心と体を思いやる医療環境の実現に貢献し続けること。それがオリンパスの医療事業が社会において果たすべき役割だと考えています。
病気の早期発見や身体への負担の少ない低侵襲治療に役立つ機器の開発・提供を通じて、患者さんの生活の質（Quality of Life）の向上、医療効率・経済性の向上への貢献を目指しています。

現在

病変細部をとらえる特殊光観察で
「光を診る」時代へ

内視鏡は、観察だけでなく、治療や処置の役割も果たす医療機器として進化を続けています

65年

早期診断に貢献

70%

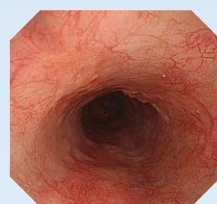
消化器内視鏡の世界シェア

奥行きのある3D映像で
立体的な把握が可能。
手術の精度向上と時間
短縮に貢献

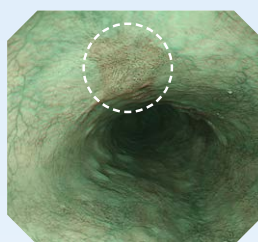
外科手術用3D内視鏡システム

ロボット技術を用いて、患者さんの
負担が少ない治療のさらなる普及・
発展に向けて機器を開発

消化器内視鏡治療支援システム（試作機）



通常画像（食道）



NBI画像（食道）



NBIを搭載した内視鏡
ビデオスコープシステム

画像提供：京都大学医学部付属病院 武藤 学先生

半世紀以上にわたり培ってきた
技術、ものづくり力で世界中の
医師のニーズに応えています

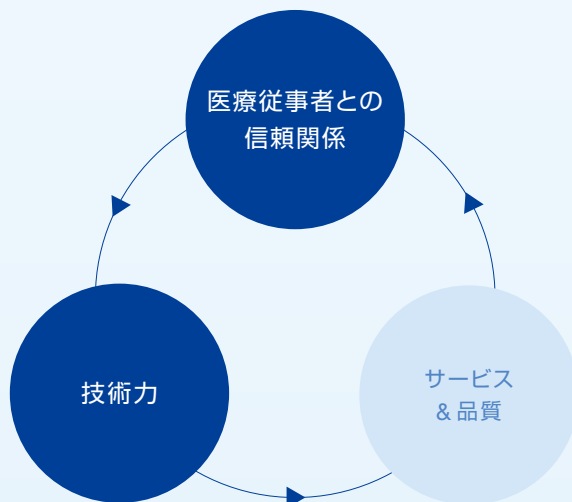


Where There's a **Will**, There's a Way.

技術力をベースに医療従事者と二人三脚で
医療現場のニーズに応えるとともに、
世界中の人々の心と体に
やさしい医療に挑戦し続けます

がんは、早期発見・早期治療で治癒の可能性が高まる病気です。オリンパスは、世界で初めて蛍光観察が可能な消化管ビデオスコープを開発したほか、光学的な手法で病変部を強調して映し出す技術「NBI(Narrow Band Imaging):狭帯域光観察」を開発しました。この技術により、通常の観察では見えにくかった粘膜表面の毛細血管を強調して、がん等の病変部の観察をサポートすることが可能となりました。半世紀以上にわたる医療機器開発で培ったオリンパス独自の技術開発力と最先端の製造技術によって、日々高度化する世界中の医師のニーズに応え続けていきます。

価値創造を支える
オリンパスの競争優位性



6,700^超

医療事業の特許保有件数

70%

連結R&D費用に占める医療事業のR&D費用割合*

* その他事業・全社を除く連結R&D費用において、医療事業が占める割合



分解を含む本格的な修理（重修理）を集中的に行う、世界最大の内視鏡修理センターを1979年米国サンノゼに設置



世界6大陸に200を超えるサービス網を有し、どの国、地域でも同様の高品質サービスの提供を可能としています



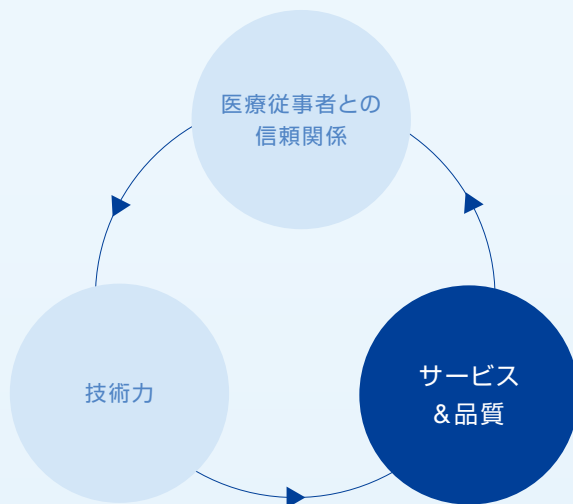
「安心、安定して使えること」が内視鏡の本質的な価値だとオリンパスでは考えています

Where There's a **Will**, There's a Way.

世界中どこでも
「現場での医療を止めない」
安心、安定したサービスの
提供を目指します

医療現場の過酷な環境で日々使用されるオリンパスの各種内視鏡。人体に直接挿入して使う内視鏡は、わずかな作動不良が医療事故につながる可能性があります。そのため、世界中どこでも安全に安心して継続的に使っていただくために、サービス体制の充実に力を入れています。そして、世界200拠点を超える業界トップのグローバルなサービス網が、オリンパスの強みの一つです。

価値創造を支える
オリンパスの競争優位性



世界 **200** 超
修理・サービス拠点網

20% 向上
5年間で平均2割以上品質改善*

* オリンパスグループ共通の指針「テクニカルサービスグローバルガイドライン」をもとに修理品質、顧客接点、ビジネス・P/L（収益性）の3要素をベースに、グローバルで品質を点数で評価したもの

経営理念

Social IN



INtegrity
社会に誠実

INnovation
価値の創造

INvolvement
社会との融合

企業と社会との関係を 3つの「IN」で確立することを目指します

オリンパスグループは生活者として社会と融合し、価値観を共有しながら、事業を通して新しい価値を提案し、人々の健康と幸せな生活を実現していきます。

この考え方をSocial IN（ソーシャル・イン）と呼び、
すべての活動の基本思想としています。

Social INは「社会の価値を会社の中に取り入れる
(Social Value in the Company)」という意味の造語です。

編集方針

オリンパスグループは、ステークホルダーの皆さまのニーズに合わせて情報開示を行っています。「アニュアルレポート2015」では、経営・財務情報を中心に、当社を理解する上で欠かせない非財務情報も加えた形での年次報告を行っています。

また、詳細な非財務情報を掲載した「CSRレポート」のほか、Webサイトでは最新の情報も提供しています。

見直しに関する記述についての注意事項

本アニュアルレポートのうち、業績見直し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

企業情報全般

オリンパス ホームページ
<http://www.olympus.co.jp/>

財務情報

IR (投資家情報) Web サイト
<http://www.olympus.co.jp/ir/>



非財務情報

CSR活動Web サイト
<http://www.olympus.co.jp/jp/csr/>

